

## 平成 25 年度 第 2 回 市長と語ろう！タウンミーティング 議事録

**開催日時** 平成 25 年 6 月 21 日（金） 午後 7 時～8 時 30 分

**開催場所** 稲田公民館

**参加者** 市民 5 人

### 《フリートーク（意見交換）》

- 1 総合公園の芝生スポーツ広場について
- 2 国道 50 号交差点の事故が多いので対策をお願いしたい
- 3 生活道路の舗装について
- 4 稲田公民館の備品および附属館について
- 5 地区公民館の予算について
- 6 稲田まちづくり懇談会について
- 7 防犯灯の管理・運営について
- 8 夏期巡回ラジオ体操の PR 方法について
- 9 来栖本戸線と国道 355 号バイパスの開通時期について
- 10 稲田中学校のクラス数について
- 11 交通の便を生かしたまちづくりについて
- 12 総合計画の評価方法について

### 《内容》

#### 1 総合公園の芝生スポーツ広場について

##### 【意見等】

昨年度、全国中学校サッカー大会が総合公園の芝生スポーツ広場で準決勝まで行われた際、スポーツ振興課、日立ライフの方が非常によく手入れをしてくれているおかげで、素晴らしい環境でプレーできた。

要望として、芝生スポーツ広場で行われる大会は試合数が限定されてしまうので、もうひとつ芝生の広場を増やしてほしい。総体などの大会の時には全試合を芝生で行えるように、使い方・運営の仕方にメリハリをつけてほしい。

##### 【回答】

芝生の管理上、一日の試合数や一か月の利用日数が制限されてしまうので、いつでも利用できるようにするためには、すべて土のサッカー場にすればよいのではという意見もあります。ご要望についてはわかりました。

#### 2 国道 50 号交差点の事故が多いので対策をお願いしたい

##### 【意見等】

国道 50 号の久保入り口で以前大きな事故があった。スピードを出す車が多いうえ、少しカーブになっているのでともと事故が多い。県の管轄かとは思いますが、白線を引くなどして安全対策をとってほしい。また、手前にある横断歩道を移動させれば、下館方面に向かう車が右折しやすくなり、事故が減るのではないかと思う。

##### 【回答】

国道 50 号は国の直轄管理になりますので、常陸工事事務所が管理しています。右折レーンをつけたいという要望についてはわかりました。

#### 3 生活道路の舗装について

##### 【意見等】

生活道路の舗装は 4m 以上でなければ難しいことはわかっているが、4m の条件がないときに舗装した道路が傷んでしまっているのを直してほしい。排水の整備もあわせて行って欲しい。

### 【回答】

現在の生活道路で、すでに舗装してあるところは4m以下でも補修することができますが、現在、砂利道の道を完全舗装する場合は4m以上を確保してから舗装するという基準で取り組んでいます。

排水整備に関しては要望が多いので、要望があったところから順次、U字溝の整備等に取り組んでいきたいと思っています。用地等の関係で時間がかかる場合もありますが、現在舗装されている道路で、すぐに対応できるものについては、ほぼ年度内には取り組むようにしています。

## 4 稲田公民館の備品および付属館について

### 【意見等】

稲田公民館は震災で傷んだ本館を直して、今年2月に新しく開館できたが、以前と違って不足している備品がある。特に、和室にエアコンがついていないことには困っているの、早急に対処して欲しい。また、日を遮るカーテンもないので、レースのカーテンだけでも入れてほしい。そして、駐車場の玄関近くに大きな水溜りができてしまうので、隅々まで碎石を入れてほしい。

次に、稲田公民館本館が使えない間に利用していた付属館も建て直しなどをするのか。今後も付属館を使用していくのであれば床の全面張替えが必要であるように感じるの、付属館をどうする予定なのか伺いたい。

### 【回答】

カーテン、エアコンなどの備品が不足していたことに気がつかなかったのは市役所の落ち度だと思います。できるだけ早く設置したいと思いますが、予算措置をしていないため、申し訳ありませんが9月以降の設置になってしまいます。排水整備に関しても、きちんと予算措置をして進めていきますので、もう少しお待ちください。高齢者が集まる場所を少しでも使いやすくすることが、利用される方への配慮と思っています。きめ細やかな対応ができず、ご迷惑をおかけしました。

付属館についてですが、建て替えは考えておりません。取り壊しにしても、現在利用している方から考えると少し直してでも使いたいという意見があるようです。去年から部分的な修繕は行っていますが、床全部を張り替えるとなると基礎も関係してくるため、やはり少しずつ直していくしかないと思います。簡単な補修については、連絡をいただければ対応していきます。

## 5 地区公民館の予算について

### 【意見等】

地区公民館の予算が年々1割ずつ減らされているが、それは何のために、いつまで減らされるのか。

### 【回答】

予算の削減は公民館に限らず全体で行っています。地区の12公民館は、笠間公民館の分館としての位置づけで運営していく方針になり、老朽化などによる建て替えは近隣公民館等との統合も考えながら検討しようということになりました。最低限の必要経費は考慮して、対応していきたいと考えています。

## 6 稲田まちづくり懇談会について

### 【意見等】

稲田地区のまちづくりに関して、若い人が中心となって、さまざまな業種が集まり、今後のことを話し合っているが、3ヶ月間で今後の展望を決めるという話だが、それでは期間が短いので、もっと長い目で見、計画を進めてほしい。

### 【回答】

若い人だけでなくいろいろな人が集まって意見をくださっているの、自然とその意見も集約されると思います。ただ一定のスピード感を持ってやらなければ、どんどん街は衰退していつ

まいります。全体的な稲田地区のまちづくりプランについては、ひとつの目安として5年間と見えています。できるだけ早く取り組んでいきたいと思っています。

## 7 防犯灯の管理・運営について

### 【意見等1】

防犯灯の管理はどこが行っているのか。いくつもの管理団体があって問い合わせる際に困るので、一本化できないか。また、自分たちで防犯灯を建てる場合に基準はあるのか。

### 【回答1】

防犯灯の整備には一定の基準がありあます。家が連続して建っているところは地元の行政区で、家の間隔があいているところは行政で設置・管理することになっています。行政区で設置した場合は、市から補助金が出ることになっています。ただ電気代などの管理費は地元で負担していただいています。現状としてはこの二通りで設置・管理し、今後も継続していきます。

今後、市が管理する防犯灯は、全面LED化を予定しています。行政区管理の防犯灯のLED化をどうするかはこれから検討しようとしているところです。LEDにすると電気代が減り、電球の交換頻度も減りますから、居住人口減少、高齢化が進んでいる現在、防犯灯の管理費用の負担を軽減できると思いますので、区管理の防犯灯をどうしていくか検討したいと思っています。

防犯灯が切れているかどうか、といった管理につきましては、なかなか市でパトロールするわけにはいかないの、見つけた場合は市の方にお問い合わせいただきたいと思っています。

### 【意見等2】

区としてもLED化を検討しているが、ほとんどの予算が防犯灯の維持管理費に消えている。LEDに移行する場合、市の補助は受けられるのか。

また当時、商店街で設置したが、管理ができなくなった防犯灯はどうすればよいのか。

### 【回答2】

市が行っている防犯灯の補助は、電球の交換でも1万6000円の補助金が出ます。補助金には予算の枠があるので、すぐにすべてを交換できるわけではありません。補助金が足りない場合は補正予算などで対応します。

管理できなくなった防犯灯を維持する仕組みをどうするか、ということは今後の課題です。他の商店街の防犯灯も含め、すべて行政でやっていくかという財政負担が大きすぎて難しいのが事実です。

## 8 夏期巡回ラジオ体操のPR方法について

### 【意見等】

夏期巡回ラジオ体操は何名くらいの集客を予定しているのか。

多くの人を集めるのであれば、決め細やかなPRが必要。区に呼びかけを要請したり、キャラクターが入ったシャツを子供にプレゼントしたりしてはどうか。

### 【回答】

約4,000名を予定しています。

おっしゃるとおり、人数を集めるのは大変だと思います。Tシャツも作る予定ではありますが、全員に配ることは難しいので、現段階では主催者やスタッフのみの着用を考えています。ただ記念品は何らかの方法で配布する予定です。

多くの方にご参加いただくため、早くから区長さんに働きかけるなどして動員を進めていきたいと思っています。

## 9 来栖本戸線と国道355号バイパスの開通時期について

### 【意見等】

大古山からフルーツライン経由で国道355号を抜ける道路は、いつごろ完成するのか。また、笠間駅南から国道355号の作りかけのバイパスと市道がぶつかる下市毛あたりの先は、いつごろ完成の予定なのか。

**【回答】**

県道笠間つくば線については、笠間駅の南から手越には現在行きづらいところがあり、全線手越につなぐには弧線橋や土地買収などの課題もあるため、平成 30 年まではかかってしまうと思います。

国道 355 号のバイパスは水戸線の跨線橋先のところで工事がとまっていますが、笠間駅の南から北吉原へ向かう県道笠間つくば線までつなげることを目標にしています。そのためには涸沼川に橋をかけなくてはならず、その工事に時間がかかっています。用地買収や橋梁の下部工事は済んでいますが、工事の完成までは、まだ少しかかります。開通は平成 26 年度以降になってしまうと思います。石井の交差点は現在改良中ですので、そこまでが国道 355 号整備のひとつの区切りとなります。

**10 稲田中学校のクラス数について****【意見等】**

稲田中学校は現在生徒数が少なく 40 人いないが、どうかして 2 クラスにしてほしい。

**【回答】**

国の基準は 1 クラス 40 人学級ですので、難しいかと思います。学校にはさまざまな役割がありますが、われわれとしては学力の向上を最大の取り組みとしています。授業に厚みを持たせるため、去年まで市の専任講師は 7 名でしたが、今年から子供の学力支援のため、全校に専任講師を配置しました。これが効果的に働くよう、市では現在取り組んでいますが、学級人数のあり方を変えようということは考えていません。平成 27 年から笠間地区で学校の統廃合が行われますが、結果的に稲田中学校は永久的に残っていくと思っています。その地域の学校として、しっかり教育ができるような配置、備品の支援等はこれからも行っていく予定です。

**11 交通の便を生かしたまちづくりについて****【意見等】**

北関東自動車道が開通したことで、交通の要所となってきているが、現在開発が進むひたちなか市やつくば市と比べ、まだ都市づくりが不十分であるので、笠間の影がうすくならないか危惧している。交通の要所であることを自覚し、それを踏まえた整備や開発、まちづくりを考えてほしい。

**【回答】**

交通の要所という利点を生かしたまちづくりや取り組みはこれからも取り組んでいきたいと思っています。友部駅周辺はまだまだ整備が不十分ですので、人の流れも考えながら計画を練り、実施していきたいと思っています。

**12. 総合計画の評価方法について****【意見等】**

資料に記載されている計画の成果はどのように評価され、発表されているのか。たとえば文化交流都市になったかどうかなど、どうやって把握するのか。数値的、具体的に示してほしい。

**【回答】**

「文化交流都市」は総合計画の中にある将来像を言葉としてあらわしたものです。毎年度の計画がきちんと進捗できたかどうかという評価は行っていますが、市民の皆さんに公表するということはしていません。わかりやすい資料の工夫など、試行錯誤はこれからも続けていきます。また、市民の皆さんが多く情報を得られるように、行政情報の伝え方はもっと検討していきたいと思っています。